

## 今月の人権カレンダー

- 4日：世界点字デー
- 17日：防災とボランティアの日  
(1995年阪神・淡路大地震発生の日)
- 24日：教育の国際デー
- 27日：ホロコースト犠牲者を想起する国際デー

## 1月の予定

- 4日(木)：仕事始め
- 13日(土)：子ども料理教室 11:00～
- 16日(火)：よろず会議 10:00～
- 18日(木)：にこにこサロン 10:30～
- 23日(火)：明倫小・社小合同地区学習会  
「伝承文化を学ぶ(ポテ茶)」17:00～

## 倉吉市解放文化祭が 開催されます！

人間解放の文化は、長い差別の歴史のなかで培われてきた人々の生活そのものであり、厳しい生活のなか、今日の産業や文化の創造・発展に大きな役割を果たしてきました。

本解放文化祭は、地域の解放の文化を掘り起こし、人間解放への営みに直接触れ、その価値を見直すことで差別に気づき、部落問題の解決と人権の確立を自らの課題としてとらえ、差別をなくする力を培い、「**お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりをめざす**」ことをねらいとして実施します。

多くの方のご参加  
お待ちしております！  
(入場無料です)



とっとり県民カレッジ連携講座

### 第47回 倉吉市部落解放文化祭 ～人間解放の文化を創造しよう～

日にち： 2024(令和6)年  
1月26日(金)～28日(日)

場所： 倉吉未来中心 小ホール・アトリウム  
倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内)

発表・講演  
日時：1月28日(日) 13:30～15:30まで  
場所：小ホール (開場13:00)

オープニング(13:30～)  
湯梨浜学園書道部による書道パフォーマンス  
湯梨浜学園書道部は県内の様々なイベントで書道パフォーマンスを披露しています。元氣よく、地域の皆さんに笑顔と素敵な作品を届けるために練習に励んでいます！

発表(14:10～) 内容：「種をまこう」朗読  
発表者：市内の小学生、人権擁護委員ほか

講演会と演奏(14:25～)  
演題：自分の好き！を大切に生きて  
講師：井谷 優太さん (サウンドクリエイター)  
身体に不自由があっても音楽ができる方法を開発し、作曲受注や公演活動をしているサウンドクリエイター。2015年に出場した国際音楽コンテストで優勝。以降、東京2020パラ開会式での出演を実現し、2022年にはバリのファッションショーで音楽制作を担当するなど、活動の幅を広げ、国内外で活躍！

作品展示  
日時：1月26日(金)～28日(日) 9:00～16:00まで  
場所：アトリウム  
【出品団体】  
認定子ども園、保育園、小学校、中学校、児童館(センター)、社会福祉施設、各人権文化センター など

主催：第47回倉吉市部落解放文化祭実行委員会  
事務局：倉吉市人権政策課 Tel.0858-22-8130 E-mail:jinkensetsaku@city.kurayoshi.lg.jp

## 生活で困っていることはありませんか？

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ。悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇した場合は、倉吉市人権政策課、又は、最寄りの人権文化センターまでご相談ください。

倉吉市市民生活部人権政策課 Tel.0858-22-8130  
はばたき人権文化センター Tel.0858-22-0232

## はばたき人権文化センターだより

# はばたき

発行：はばたき人権文化センター  
住所：〒682-0872  
倉吉市福吉町2丁目1514-7  
電話：0858-22-0232(FAX兼)  
E-Mail:habataki@ncn-k.net



1月号 NO.433(2024年1月1日発行)



## 謹賀新年



謹んで新年のお慶び申し上げます。  
旧年中は、はばたき人権文化センターの諸事業や運営にご支援とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

世界では、2022年2月24日、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、戦闘は止むことなく続いており3年目に突入しようとしています。そして、2023年10月7日、パレスチナ暫定自治区のガザ地区を実行支配するイスラム教組織ハマスが突如、イスラエルへの攻撃を開始し、軍事衝突、戦闘は激化するばかりで、多くの子どもたちや民間人が犠牲となっています。

国連が、停戦や休戦に対して、機能と効力を発揮できない状況の中で、多くの人々の命が失われていっていることに、私たちは思いを馳せ、理解をし、何ができるのか考えていく必要があります。戦争は最大の人権侵害です。世界の平和を願ってやみません。

3年ぶりに開催した福吉解放文化祭では、「つながろう 人の輪」をテーマに、地域の絆を取り戻す機会になったのではないかと考えています。新型コロナウイルス感染症で希薄になった人とのつながり、地縁の再構築に今後も努力して参ります。

今年も、お気軽に立ち寄っていただき、皆さまの声をお聴かせください。  
困りごと・悩み事があれば、遠慮なくご相談ください。  
支え合い、助け合える地域づくり・町づくりをしていきましょう。

はばたき人権文化センター 職員一同



年末年始休館のお知らせ  
12月29日(金)～1月3日(水)まで





## 「12月 こんなことしました」

### 7日(木)： にこにこサロン「クリスマスケーキづくり」

少し早いクリスマスケーキを、2グループに分かれて作りました。  
ホイップクリームと果物で飾り付けをし、可愛く、美味しいケーキができました。



### 9日(土)： 子ども料理教室

マーボー丼と中華スープを作りました。  
「ひとつの豆腐を16等分にするには？」と、途中、  
算数の計算もしながら、みんなで楽しく調理をしました。



### 12日(火)： スマホ教室「スマートフォンで年賀状作成」

久々の参加者もあり、和気あいあいとした楽しい時間でした。  
反復練習もしながらですが、回数を重ねるにつれて応用力も身に付き、  
スキルアップしてきています！



## < 1月のおすすめの本 >



### 「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」

著：汐見 夏衛 出版社：スターツ出版文庫

加納 百合は、学校や親、周囲に対していら立ちを隠せずにいる。ある日の夕方に母親と口論になり、制服のまま家を飛び出してしまい、誰も会わない場所をと考えて裏山の防空壕跡で一夜を過ごす。翌朝、目覚めて外を見ると、いつもの見慣れた町や学校もなく景色が全く違っていった。

1945年、第2次大戦末期の日本にタイムスリップした現代の女子中学生の加納 百合と、特攻隊の青年 佐久間 彰との時空を超えた切ない物語。

2023年12月に映画公開されたばかり。

大切な人が戦争で命を落とす。戦争は、弱者の命を否応なく奪う。時代に関係なく戦争は突然起こる。日々、世界で戦争が起こり終わらない。自分事として戦争のこと考えてみましょう。

### 「アウシュヴィッツ生還者からあなたへ」

14歳、私は生きる道を選んだ

著：リリアナ・セグレ 訳：中村 秀明 出版社：岩波書店

1944年1月、アウシュヴィッツ第2収容所に送られた少女は、壮絶な日々の末に生き延び、戦後、長い沈黙を経て、30年にわたり自らの体験を語り続けた。

その生き延びた著者の講演の記録と、2020年に90歳を迎え、活動に幕を下ろした最後の証言を、インタビューと共に収録。イタリア全土にTVで生中継され、同世代から若者まで多くの人が耳を傾けた。

差別・憎悪・分断・復讐心、そして、無関心が蔓延する世の中にこそ、戦争に発展する火種があることを教えてくれる一冊です。



## 1月24日「教育の国際デー」に寄せ

2030年までに、SDGsの目標4:「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」の実現をめざしています。

「教育の国際デー」2023年のテーマは、「人に投資を、教育を最優先に」でした。

### 教育の重要な役割を各国が確認しました。

《役割》 教育は、レジリエントな社会(短期間で回復・復興する社会)の構築において重要な役割を果たし、SDGsの全ての達成に貢献する。

1. 個人の生産性を上げる。
2. 経済成長の可能性を高める。
3. 働きがいのある人間らしい仕事に必要な技能を習得させる。
4. 水と衛生やグリーンエネルギー、天然資源の保全などの分野での持続可能な開発に必要な専門技能を磨く。
5. 貧困と飢餓の撲滅に役立つ。
6. 健康の向上に寄与する。
7. ジェンダー平等を推進する。
8. 不平等を無くすことができる。
9. 平和や法の支配、人権の尊重を推進する。



### 教育はすべての人の権利

世界人権宣言 第26条には、「すべての人は教育を受ける権利を有する。初等及び基礎的段階の教育は無償でなければならない。初等教育は義務的でなければならない。」と、うたわれています。「子どもの権利条約」においても、同様に教育の機会を保障しており、すべての子どもへその能力に応じて、中等教育、高等教育を受ける機会が与えられるようたっています。

どこに生まれても、どのような状況下におかれても、教育を受ける権利は守られなければなりません。(参考:ユニセフ SDGs CLUB HP から)



### SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

目標達成のために、日本では・・・人材開発(「人への投資」)の強化

企業・労働者を取り巻く環境が急速にかつ広範に変化していること、職業人生の長期化も同時進行することを踏まえ、労働者の「自律的・主体的かつ継続的な学び・学び直し」が重要と考え、社会人の学びを「リカレント教育」と呼び、厚生労働省・経済産業省・文部科学省が連携し、「職場における学び・学び直し促進ガイドライン」を策定。労使が取り組むこと、公的支援策等を体系的に示しています。

目標達成のために、私たち一人ひとりにできることは・・・

国内の状況として、あらゆる人への教育が保障されているとは言えません。日本語が話せない日系家庭の子ども、障がいのある子ども、無国籍の子ども、ひとり親世帯、貧困世帯の子どもたち等に対して十分な教育・生活環境は整っていません。

- <できること>
1. ボランティア活動への参加
  2. 寄付・募金活動への参加
  3. 現状の教育について考える
  4. 支援活動の必要性を知り、周りに伝える

世界中で起こっている戦争、貧困、飢餓の大きな課題も、教育によって解決への道が拓けるのではないかと思います。「教育の貧困は教育で埋める」、「教育に始まり教育で終わる」を心に刻み、活動していきたいと思ひます。